

平成 24 年度第 5 回魚津市行政改革推進委員会会議録

日 時	平成 25 年 2 月 7 日（木） 午後 1 時 30 分～午後 5 時 23 分	
開催場所	魚津市役所 4 階第 1 委員会室	
出席者	【魚津市行政改革推進委員】 中村和之、慶野達二、浅野朱実、岩井哲雄 岡本安克、吉田讓、若林忠嗣 【事務局】 殿村総務課長、新浜財政課長、南塚総務課長代理、広田総務課主任	
	【施設担当課】	
	小中学校 （公民館） （消防団詰所） （児童センター）	教育委員会次長、教育総務課総務係長 消防本部次長 こども課長、こども課保育係長
	保育園 児童センター	こども課長、こども課保育係長
	体育施設 文化施設	生涯学習・スポーツ課長、生涯学習・スポーツ課長代理 生涯学習・スポーツ課スポーツ係長
	老人福祉センター 高齢者ふれあいの家	社会福祉課長、社会福祉課高齢福祉係長
	市営住宅	産業建設部次長、都市計画課主幹
欠席者	青山芳枝	
開催形態	公開（傍聴者 1 名）	
議 題	○議事 1. 施設担当課ヒアリング 2. その他	
会議概要 13 : 30	事務局	○議事 それではこれより、第 5 回魚津市行政改革推進委員会をはじめたいと思います。 本日は、各施設担当課からのヒアリングを予定しておりまして、お手元の資料「ヒアリング項目一覧表」におけます予定時間を基本に進めてまいりたいと思います。なお、終了は午後 5 時 10 分ごろを予定しておりますので、よろしくお願いいたします。 それでは、すでに担当課にも来てもらっておりますので、早速ヒアリングに移りたいと思います。 この後の進行は会長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<p>会長</p>	<p>本日はご苦勞様でございます。</p> <p>それでは、ヒアリングのほうを行っていきたいと思います。</p> <p>まずは、本日、各施設の担当課の皆様にはお忙しいところ時間を割いていただきましてありがとうございます。</p> <p>我々のこの委員会においては、魚津市が平成の大合併を経験していない市町村の中では公共施設の一人当たりの述べ床面積が非常に高いという実情があることから、その施設のあり方を考えていこうとしているところでございます。</p> <p>過去、何回かの委員会の中で色々な観点から各委員より意見が出されたところでございますが、本日、改めまして担当課のほうからその実情、実態等についてお話をお聞かせいただければというふうに考えております。</p> <p>どうかよろしく願いいたします。</p> <p>それではお手元のヒアリング項目一覧表に沿って進めてまいりたいと思います。</p> <p>ヒアリングにつきましては、担当課のほうへ事前にヒアリング項目を投げかけており、また、それに対する回答も頂戴しているところでございます。</p> <p>本日は、こちらから質問しました項目に対する回答等を簡潔にご説明いただいたのち、委員の皆様からのご質問あるいはご意見等を受けていきたいというふうに思います。</p> <p>まずは、教育総務課がご担当されている小中学校でございます。</p> <p>ヒアリング項目としては、4項目でございます。</p> <p>全体の時間として1時間程度みておりますので、若干のデコボコはございますが、1項目15分程度で進めてまいりたいと思います。</p> <p>それでは最初に、ヒアリングNo.1について担当課よりご説明願います。</p>
<p>教委次長</p>	<p>よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、まずNo.1の「見直し予定の小中学校の規模適正化基本計画について」でございます。</p> <p>内容は調書にお示ししているとおりですので、早速本題に入りたいと思いますが、回答の前に簡単に経過だけご説明いたします。</p> <p>この小中学校の規模適正化に関しましては、そもそもの発端が平成17年の6月に魚津市学校教育審議会というものを立ち上げまして、その中で魚津市の少子化の現状を踏まえ、それから審議会では全国の視察等もされまして、最終的には答申を平成18年にいただいております。</p> <p>この時は1年余りかけて、慎重にご審議いただいた答申ということで、それを基に全地区を回っての説明と、その間には市長のタウンミーティングでもこの規模適正化が主な話題になったこともございました。</p>

	<p>その後、素案という形で計画を作ったわけですが、その後も素案に対する全地区のご意見を受けたりして、色々と紆余曲折ございましたけれども、今の基本計画については平成 21 年の 9 月に出来たものでございます。ですから、すでに 3 年余り経過しております。</p> <p>それで、この基本計画の中では、概ね 5 年ごとにその状況を見ながら見直しをするというふうに謳っております、そのとおりですと平成 26 年に見直しということになるわけですが、これだけ急激に少子化が進んでいるということで、担当の教育委員会としましては 1 年早めて平成 25 年度に見直しをしたいというふうに考えております。</p> <p>それでは回答について、簡単にご説明いたします。</p> <p>まず見直しの必要性として①から④まで挙げておりますが、①として予想以上に少子化が進むことから、将来の児童予測を見直したいというふうに思っております。それから②として、昨今、教育現場におきましても ICT の活用、それから、いわゆるインクルーシブ教育といえますか、ご承知のとおり発達障害ですとか色々と問題のある子供達が増えてきているという目立つようになってきております。そういった子も一緒に普通教育にという考え方の推進、それから近年の温暖化で夏場の非常に暑い時期が長くなっているということで、そういった広い意味の教育環境を充実させる必要があるということでございます。</p> <p>それから③の耐震化について、魚津市は耐震化が遅れているといいながら、平成 27 年度末までにはほとんどの学校を耐震化しようという動きを急ピッチで進めておりますけれども、建物自体のほとんどが昭和 50 年代に建築したものでございまして、日常的に多額の修繕がかかっております。そういうことで施設の充実を図っていく必要があるということでございます。</p> <p>それから④ですが、過去 7 年余りの間には、地区においては自分の地区から小学校を無くしたくないという非常に強い思いがあったわけですが、大分年数が経過したことによって、市民の中でも柔軟な考えというか、より大きな統合が必要という意見も聞かれるようになってきております。</p> <p>以上のような 4 点から見直しが必要というふうに考えております。</p> <p>次に規模の考え方ですが、これは今の基本計画でも同じような考え方を示しておりますが、さらにもう一歩進めて、1 クラスあたりは 30 人前後、それから 1 学年はやはり 2 学級以上と、そうしますと全校では 6 学年で 12 学級から 18 学級が好ましい、そうなりますと 1 校の児童数はごく大雑把なところで 300 人から 500 人程度が望ましいのではないかとというふうに考えております。</p> <p>それで、市の児童数ですが、参考に平成 35 年度くらいまでの推計を教</p>
--	---

		<p>育委員会のほうで出しておりますけれども、少子化が急激に進むということで、将来的には、約 20 年後と書いておりますが、年間の出生数が 200 人前後になるのではないかと、そうすると小学生が全体で 1,200 人から 1,300 人程度になっていくということで、そういうことになると、東西の中学校区ではそれぞれ 2 ないし 3 校の小学校が望ましいのではないかとというふうに考えております。</p> <p>これが、今の基本計画ではここまでは示しておりませんでしたけれども、わずか 3 年余りの間にここまで考え方が少し進んできたというところでございます。</p> <p>中学校は現在のとおりのように考えております。</p> <p>それで、スケジュールですとか公表の時期についてですけれども、何しろ平成 25 年度中には見直し案を取りまとめたというふうに思っております。その際には、庁内ですとかもちろん教育委員会の中でもですが、場合によっては再度、審議会ないし市民あるいは保護者の方々にご意見を聞く場を設ければいいのか、それについてはまだ具体的に決まっておはりませんが、まずは教育委員会内、そして庁内で見直し案を作りたいというふうに思っております。</p> <p>見直し案が出来たあかつきには、地元説明ですとか、場合によっては市民向けのフォーラムなどで周知を図っていきたいというふうに思っております。</p> <p>それから、小学校がもし新築あるいは改築ということになれば、非常に多額の経費がかかりますので、このあたりを計画の中でも年次計画を作って、総合計画あるいは実施計画へ盛り込みながら進めていきたいというふうに思っております。簡単ですが以上となります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今、「見直し予定の小中学校の規模適正化計画について」ということで、ご説明いただきました。</p> <p>この点に関しまして何かご質問などございましたら、どなたからでも結構ですのでお願いいたします。</p> <p>担当課の基本的なお考えといたしましては、やはり小学校については、適正規模というものからするとかなり現在は施設面で見て過大であるというご認識でいらっしゃるということだと思います。</p> <p>それは、教育の成果というところを考えたとしてもそういうことかどうか。</p> <p>実は、この計画の中で 1 番に挙げておりました坪野小学校について、同じ松倉の地区の中に坪野小学校と松倉小学校があったわけですが、これも数年をかけて 24 年 4 月に統合いたしました。</p>
	会長	
	教委次長	

A委員	<p>わずか 14 名が松倉小学校へ移っただけで、全体がまだまだ少ないわけですが、それでも随分活気が違うということです。</p> <p>この統合で坪野小学校の複式が解消されましたけれども、西布施小学校が去年から 1 学年 3 人の学年がありますので、複式が発生しております。</p> <p>それは、市が単独で手当をして、一応 3 人の単独教室になっておりますけど、とにかく基本的には 1 学級あたりの人数も、それから複数級というもの、それは教育委員会としては教育上望ましい形というふうに思っております。</p> <p>ずっと前の頃は、この統廃合をするということに対してはそれぞれ地域の色々な意見があつて難しかったのですが、今ここに至って、なおかつ将来 10 年、20 年先の子どもたちの数字を出してみると、それもやむを得ないのかなという認識のところには全体的には進んできているのではないかと思います。</p> <p>それで方法論ですが、例えばひとつの方法で、東西中学校に集約して小中一貫校みたいなかたちにもし進むとすれば、ここで小さな統合をして、将来また次に変化していくという、この方法論みたいなところがまた意見の出てくるところなのかなと思います。それだったら一気に全体の計画を出していったほうが、結果的には効率の良い進み具合になるのではないかと思います。</p>
会長	<p>今ほど一貫校というお話が出てまいりましたけれども、そういったことも含めて基本計画を見直すおつもりでしょうか。</p>
教委次長	<p>先ほど言いました 1,200 から 1,300 人というのは、まだ少し将来的な数字でして、現在は 2,300 人、平成 35 年でも 1,700 人程度となると、東西 1 校ずつということになれば 800 ないし 900 人程度の小学校になりますが、今のところまだそこまでは考えておりません。</p> <p>現在の計画で 7 校と言っているところを 4 校ないし 5 校と、それが究極かどうかは分かりませんが、今のところの究極だと思っております。</p>
B委員	<p>どのように統合されていくの分かりませんが、教室の数というのは大丈夫なんでしょうか。</p>
教委次長	<p>当然、統合して大きい学校にすれば足りないことになります。</p> <p>例えば大町小学校については、子どもの数は少ないですが教室の数はたくさんあります。だからといって、必ずしもそこに統合できるかどうかは分かりませんので、もし 2 校、3 校一緒になるとすれば、既存の一番大きい学校を使うという方法もあれば、やはりどこか位置的に新設を考えなければならないこともありますので、それは一概には何とも言えません。やはり児童数に合わせるしかないと思います。</p>
会長	<p>それでは続きまして、ヒアリング No. 2 の「小学校の統廃合による維持管</p>

<p>教委次長</p>	<p>理費・人件費の削減額について」、これも担当課からご説明願います。</p> <p>それではご説明いたします。</p> <p>あくまで仮定の数字ということで見ていただきたいと思います。</p> <p>この数字だけが一人歩きしないようご配慮いただきたいと思います。教育委員会のほうで支出しております数字を基本としながら、具体的な数字を示しております。</p> <p>市内の小学校は現在 12 校で、児童数は 2,318 名でございます。</p> <p>市が支弁しております運営費ですが、教師にかかる人件費は市から出しておりません。それから、工事請負費については特殊要因ですので省いております。</p> <p>ですから、通常の運営費というふうに考えていただいて、各学校には業務員を配置しておりますし、先生の補助として学習支援員ですとか、学校図書館にはパートですけど図書館司書を配置しており、そういった方の賃金、需用費、それから色々な業務委託、コンピュータのリース料、借地料もかなりあります。そういったものを 12 校合計しますと、約 2 億円を 1 年間で支出しております。</p> <p>最小規模の西布施小学校、児童数 50 名では、年間約 1,400 万円かかっております。一方で、最大規模の吉島小学校、児童数 519 名では、年間約 2,000 万円ということで、当然のことですが、必ずしも児童数に比例しない部分がございます。一人当たり経費を比較しますと、かなり差があるということになります。</p> <p>それで、例えば先ほど言いました理想といいますか、400 名程度が適正規模としたときに、本江小学校、児童数 449 名を例にとって見てみますと、年間で約 2,000 万円でございます。</p> <p>本江と同じ規模の 5 校にした場合、2 億円が 1 億円になるということで、単純に試算するとそのようになります。</p> <p>ただ、増える要素として、スクールバスなどが考えられると思います。</p> <p>人件費につきましては県の支弁ですので分かりませんが、ただ、頭数だけを試算してみましたところ、12 校が 5 校になったとすれば、もし 1 学年 2 クラスの場合全部で 60 クラスですので、それと現在を比較した場合は、学校が 7 校減りますので校長、教頭で 14 名減、教務主任、養護教諭、特別支援級担任を単純に試算した場合 21 名減、それから学級担任が現在 100 学級のところが 60 学級になれば 40 名減となりますので、それらを合わせますと 75 名は減るだろうというふうに思っております。</p> <p>むしろ維持費よりも、県が支出している人件費が非常に大きく減るものと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、ただ今の項目について何かございますでしょうか。</p>

会長	この運営費というのは、いわゆるこの施設を使い続けていくための修繕費的なものも含めてということでしょうか。
教委次長	含めております。 大規模な修繕は含めず小規模なもののみ含めていますが、そういった小規模なものが増えてきております。
C委員	この試算で教員が75名減ということですが、単純に教員を75名減らして児童が不便を感じるのであれば、あまり得策でもないということにはなりませんか。
教委次長	そういった考え方も出来るかと思えます。
D委員	この試算は10年後くらいを想定したものでしょうか。
教委次長	先ほど言いましたように、1,200から1,300人になるのが20年後になりますので、その時期を想定しております。
D委員	1,200人から1,300人となると、1学年大体200人くらいかと思えますが、東西で200人ですから各中学校下でいえば100人ですよ。
	100人というと3クラスちょっとになると思いますが、ということは東西各2校になれば1.5クラスとなります。
	そうすると20年後を想定した場合、5校もいるのかなと思ってしまいます。
	そんなに少子化が加速するのかわかりませんが、減る要因があるとするならば、やはり20年後はこうだけど30年後はこうだというある程度の目安を考えておかないといけないと思います。
	日はすぐ経っていきますので、1校減らすにしても坪野小学校がそうだったように実行に移すのにおそらく5年、10年かかるとしたらどこまで出来るのか、という懸念もあります。
	それと、先ほど話が出ました地域の色々な問題、前から見れば大分違って来たというものの、東西各2校にするときのエネルギーと、小中一貫校にするときのエネルギーを考えたときに、長期的なビジョンとして捉えて、将来的に30年後は小中一貫校だけど途中経過として20年後は東西各2校だというような話を今のうちから提示していかないと、市民にはなかなか理解してもらえないのではないかと思います。
教委次長	そこら辺をイメージしていかないと、市民だってイメージできないと思うので、そういったところを工夫していく必要があると思います。
	今の基本計画においてそういったイメージをしていたときは、平成23年度、平成27年度、平成30年度を経て、将来にわたる見直しということで7校を予定していました。
	この時点では将来といいながら7校までしか想定していませんでした。おっしゃるように、30年後にどうなるかという姿まで描けばいいのかも

	<p>しれませんが、今度の見直しでどこまで描けるか、今の想いとすれば、この7校を3年経った時点で4校ないし5校にするだけでもかなりのインパクトはあるものと思っております。</p>
D委員	<p>だけど、20年後に4、5校にするためのエネルギーを費やすのと、30年後に小中一貫だとかたちでざっくり言うてしまう、そのためのエネルギーを比べてそんなに変わらないとすれば、途中経過として20年後はこうだけど30年後は小中一貫ですよ、という説明のほうが非常に分かりやすいし、例えば、私達も色々な校下の出身ですが、最終的に小中一貫ならしょうがないじゃないかという感じにもなると思います。</p>
教委次長	<p>また一方で、小学校の空き施設をどういった施設として複合的に転用できるのか、これも市の財政を圧縮するための要因になるものと思います。</p> <p>ですから、中途半端な考えよりも思い切った考え方のほうが経費削減にもなりますし、地域のいわゆるコミュニティの醸成にもつながるような気がします。</p>
D委員	<p>今おっしゃられたことは確かにそのとおりです。</p> <p>そうすると、例えば将来的に4校にしますと、そのときに4校新設しますと言いながら、さらにその10年後には小中一貫でこうなりますといったときに、鉄筋で造れば耐用年数50年なので、そこを見据えるとすると4校新設すること自体が無駄ということになってしまいます。</p>
D委員	<p>私が言いたいのは、今から30年後に小中一貫になる可能性があるとするならば、新設校2校が非常に無駄になってしまうのでそういった話をしているんです。</p> <p>20年後に4校新設してもその10年後に小中一貫という考えがあるなら、たかだか10年だけのことを考えると、4校のうち2校の新設は無駄ですよ。</p>
教委次長	<p>逆に言うと、将来そうなることが見えているならそのときまで自分の地区はそのままでいいと言いかねないところもあると思います。</p> <p>その辺が難しいところだと思います。</p> <p>各地区の方は基本的には今のままで、自分の校下に学校があったほうがいいんだと思います。</p>
D委員	<p>私とすれば、少ない人数の学校に行かせるよりも、大きい学校に行かせたほうがいいと思います。</p> <p>子どもをもつ最近の親からもそういった話を聞きます。</p>
教委次長	<p>子どもがおられる家庭はそうなんですけど、むしろ関係のないと言ったら失礼ですけど、いわゆる地域の方々の反対が非常に大きいです。</p>
総務係長	<p>学校があって地域がある、学校は地域のシンボルで学校が無くなると地域の関係が非常に希薄になるというような想いを、年配の方々によく言わ</p>

		<p>れます。</p> <p>我々とするれば、学校はあくまで教育施設であって、子どものための施設である、地域と学校は切り離して考えていただきたいというスタンスであります。</p> <p>ただ、一般的にはそういった声のほうが大きいです。</p>
	A委員	<p>ここ何回か議論を重ねてきたときにもよく出てきたことですが、魚津市というのは町があって、その周辺に村があって、それが合併して現在の魚津市になりました。ですから、それぞれの地域にはそれぞれのこだわりとか歴史があると、それはそれで分かるんですけど、この今討議している目的というのは、財源的なこともありますけど、子供達をいかに健全に育てるか、このほうに軸足があるんだろうと思っております。</p>
	総務係長	<p>そうすると、地域の方々のご意見もお聞きしないといけないけれども、結果的にはそれを集約して、子どものために前に進まないといけないところがあるんじゃないかと思えます。</p>
	教委次長	<p>今度の計画の見直しのときには、特にやはりPTAだとか父兄の方々のご意見を強くお聞きして、もちろん地域の意見も聞かなければいけません、PTAなどの方々の意見に比重を置いていきたいと思っています。</p>
	C委員	<p>議会からは地域の意見を十分聞くようにと言われますし、市長もタウンミーティングに行かれますとそういった意見が多く出ますし、いざ進めるとなると大変難しい問題です。</p>
	総務係長	<p>はじめから小中一貫として進めていけば、地域の反対はそれほど出ないのではないのでしょうか。</p> <p>10年後というのは極端ですが、20年、30年先を見据えたときには、小中一貫でいいような子どもの数しかないかもしれません。</p> <p>ただ、今の現状からすると、学校統廃合は10年も待ってられない状況にあると考えております。</p> <p>そう言いながら、坪野の場合は時間がかかってしまいましたので、また5年も10年もかかるんじゃないかといった話も一方では出るかと思うんですけど、やはり3年から5年後くらいには東西各2校から3校にしなければならぬという強い意志のもとにやらないと統廃合は進まない、であればいきなり東西に1校ずつというのは早いかなと思います。</p>
	D委員	<p>先ほど私はそういう話をしたわけではなくて、言われるように計画はそれでいいんです。</p> <p>ただ、30年後は小中一貫を想定していますということを示しながら説明しないと、物事がうまく進まないということを行っているんです。</p> <p>30年後にそうなるならじゃあ統合するか、といった建設的な意見も出るでしょうし、父兄からもさきほどのような話が出ているなら協力してもら</p>

<p>E 委員 教委次長 E 委員 教委次長 E 委員 教委次長 E 委員</p>	<p>えると思います。</p> <p>でも、途中経過だけ話をしている絶対には進まない私としては思います。</p> <p>実際に児童数も減少していくなかで、市としての合理的な話も出ず、そしてPTAからは父兄も心配していますよと投げかける、さらに30年後はこうなるけれども、途中経過としてこうなるというふうに説明していけばいいのではないかと思います。</p> <p>30年後に小中一貫になるとすれば、新たな施設は造らないと思います。どこかにとりあえず仮校舎として統合していけばいいと思います。</p> <p>仮校舎という考え方をすれば、最終的に小中一貫の姿が見えているので、誰も反対しないと思います。</p> <p>それが、とりあえず統合だとか、あそこに合併だとかということになると、先ほどおっしゃったように地域のエゴも当然出てくると思います。</p> <p>人件費は県が出しているんですよね。</p> <p>そうです。</p> <p>そしたら、県から5年後、10年後、20年後はこんな方向でといった何か計画みたいなものはあるのでしょうか。</p> <p>一切ありません。</p> <p>例えば、今度の計画で20年後に教職員が減るとした場合、県の負担が減るわけですが、そんなときに逆にこういった手厚い教育をしたいから、小学校の数は減るけれどもそれほど教員を減らさないということは可能なのでしょうか。</p> <p>今も色々な支援を必要とする児童がおりまして、市の単独でやっている部分が大いいわけですが、問題の多い学校には補助の先生を増やしてくださいという余地、県とのやり取りは可能だと思います。</p> <p>今でも正規の職員でなくて臨時の講師がたくさん入っていますので、統廃合が進んだ場合、臨時が正職員に換わるだけという実態があります。</p> <p>ですから、統廃合を進めれば、むしろきちんと正職員を充てられますし、これまで以上にきめ細かい教育が出来るということが言えるかと思っています。</p> <p>先ほどD委員が先を見越してやっていかないといけないとおっしゃっていましたが、私もそのように考えています。</p> <p>例えば、黒部か魚津か滑川のどちらかに子どもを小学校に行かせたいと親が思ったときに、絶対魚津だと思われるような20年後、30年後の教育体制というか学校づくりを見据えたもので考えてほしいと思います。</p> <p>数だけの勝負ではなくて、中身も含めて、魚津はさすがだと言われるような高い教育の質を目指してほしいと思います。</p>
---	---

<p>A委員</p>	<p>計画を立てる段階では是非それはお願いしたいと思います。</p> <p>E委員がおっしゃったように、この行政改革のなかにたくさんの問題があつて、これを整理することによって健全な自治体にするという目的があるわけですが、色々な切り口の中でこの学校制度を先進的にすることをもって、この地域間競争のなかで少しでも前に前に進んでいくことで、ひょっとしたら若い世代が増えてくるということが、連鎖的に出てくるかもしれないということが可能性としてはあります。</p>
<p>会長</p>	<p>この行政改革の委員会で検討している小学校の問題については、成果を上げると同時に経費も削減できるかもしれないという非常に稀有なケースだと思います。</p> <p>それだけに、私たちとしても出来るだけ教育の成果が上がるような形での改革というのを捜し求めていきたいというふうに思いますし、そう考えたときに、やはり先ほどからご意見のあつた長期的な視野に立って、施設のマネジメントと教育の水準の確保あるいは向上というのを図っていくという、その両立が非常に大事になってくると思います。</p> <p>そういった点も踏まえて、あるいは考慮していただきながら基本計画を立てていただければいいのではないかなと思います。</p> <p>私たちの委員会は、どちらかというと教育にそぐわないことを打ち出すことはあまり良くないとは思いますが、施設の維持管理あるいは日頃のマネジメントという点からこうすればいいのではないかなというような提案ができればいいのかなというふうに思っております。</p> <p>長期的な視点というのは非常に大事なところだと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは続いてNo.3の「小学校への機能集約・併設について」でございます。こちらについても簡単にご説明願います。</p>
<p>教委次長</p>	<p>教育委員会として、この質問にお答えするというのは非常に難しいというふうに感じていたんですが、教育委員会の立場としてお答えするとすれば、先ほどからも言っておりますとおり、学校教育と地域はやはり切り離して考えたいというふうに思っております。</p> <p>学校は学校、そして地域へ帰ればその地域の子供達ということで、その地域に密着した公民館活動なり、その他色々な地域活動を子どものためにしていただきたいというふうに思います。</p> <p>そういったことから、学校教育と地域活動は子どもにとって両輪だというふうに考えております。</p> <p>役割は分担すべきものと考えております。</p> <p>ただ、児童センターですとか、保育所、幼稚園ですとか、一連の子育て支援としての機能のあるものについては、小学校の統合と合わせてやはり</p>

	<p>会長</p> <p>教委次長</p> <p>消防次長</p>	<p>考えるべきではないかと思えます。</p> <p>小学校の統合と合わせて児童センターなども統合していくという意味合いでしょうか。</p> <p>すでに児童センターなどありますけれども、一番の問題は放課後児童だと思えます。低学年の子供達の放課後保育ということで、学校の近くにあることにこしたことはないと思えます。児童センターがそばにあれば放課後すぐに行けるということで、典型的な例として道下小学校とすずめ児童センターがあります。</p> <p>あと、保育所、幼稚園について、片貝などは小保が完全に合わさっていますけど、そこまでいなくても、やはり経田や大町などは敷地内に幼稚園がありますので、非常に交流もうまくいっているひとつの形かなと思っています。</p> <p>消防団の分についても合わせてご説明いたします。</p> <p>消防団の分団詰所について、機能の集約または併設というお話ですが、魚津市の消防事務はいわゆる正規職員 48 人の常備消防と、消防団員 1 本部 13 分団でいわゆる自営業などの非常勤職員 449 人の消防団員の方がいらっしゃいます。</p> <p>消防団は、平常時は防火啓発活動、救命講習会、住宅防火訪問などを実施しております。また、災害時には消火、救助、水防活動など地域に密着した活動を行っています。</p> <p>そして、東日本大震災のような大規模災害時には、地域の先頭にたって救援活動を実施することにより、地域や家族、かけがいのない生命、身体、財産を災害から守っているというふうになっております。</p> <p>今後の分団詰所の小学校併設につきましては可能と考えております。</p> <p>ただ、分団詰所というのは、皆さんご承知のとおり大体が 2 階建てで 1 階に消防ポンプ車が入っておりまして、2 階が団員の詰所というかたちになっておりますが、小学校に併設した場合は、やはり新築、改築の費用がかかるのではないかと考えております。</p> <p>また、小学校が統廃合になって 5 校とかになった場合ですが、分団詰所の集約は、活動団員の現場到着時間の遅延にもなりますし、現在、分団に消防ポンプ車が 13 台あるのですが、消防ポンプ車の台数が減ることになりますと、消火活動に影響が出るのではないかと考えられますし、大規模災害時の迅速な出動に支障をきたすことなども懸念されることから、消防本部とすれば困難ではないかなと考えております。</p> <p>また、資料には書いてございませんが、3 月 31 日から魚津市、滑川市、上市町、舟橋村の 4 市町村で消防の広域化が成されます。</p> <p>我々魚津市の消防職員 48 人を含めて、全体で 111 名のいわゆる正規職</p>
--	-----------------------------------	--

<p>会長</p> <p>消防次長</p>	<p>員で4市町村の消防事務にあたります。</p> <p>ただし、消防組織法の規定によりまして、消防団はそれぞれの市町村において実施することになっておりますので、常備消防は組合で実施、消防団は市のほうで維持管理を行っていくという話になっております。</p> <p>その中で、消防団は昭和27年の魚津市合併からずっといわゆる旧村・町単位のものを60年引きずっているということで、今後どうしていくべきかということは我々消防本部の中でも真剣に考えていく必要があるものと思っております。</p> <p>今ほどご説明いただいた点につきまして、何かございますか。</p> <p>消防団の集約というのは少し難しいというお考えでしょうか。</p>
<p>会長</p> <p>消防次長</p>	<p>消防本部で話しているなかでは、現在、旧小学校単位の詰所があって、そこに平均30人から35人の消防団員がいて活動してもらっているわけですが、それを集約するときにはどのような方法がいいのか、もし小学校に集約してもほとんどの方が自営業なりサラリーマンなのですぐに現場出動というのはなかなか難しいのかなと思います。</p> <p>また、東日本大震災のようなときには消防団の活動が非常に重要だったということからも、市民の安全・安心を考えると、少し消極的かもしれませんが今の体制は持っていたいという想いがあります。</p> <p>小学校の統合と切り離れたとしても、それほど大きな集約ではなく少し現状に合ったような修正といいますか、そういった集約化というのも難しいということですか。</p>
<p>E委員</p>	<p>難しいといいますか、この行革の委員会のほうで取りまとめをされた後、市長に提言という形になるのでしょうか、その提言を受けてトップのほうからそのようにしなさいといった指示が出れば、集約についても真剣に考えていく必要があると思っております。</p> <p>完全に駄目ということは一切思っていないで、どのような方法があるのかということになるかと思えます。</p> <p>今の状況で消防団の詰所を集約化してメリットがあるのか、ないのかということ考えた場合に、やはり災害対応を考えると、消防団のポンプ車を減らすということは、この先に消防団員の問題があるとは思いますが、特に必要ないのではないかと思います。</p> <p>小学校をいくつかにした場合に、今ある小学校が色々なものに利活用できるということで、前回の委員会で話をしていたのは、そういったところに消防団を持ってきたほうがいいのではないかということだったかと思えます。</p> <p>そのときは、消防ポンプ車を入れることまでは考えていなかったのですが、当然何かあったときはこういった場所は避難場所などになるので、そ</p>

	<p>ういう専門の方々がおられたほうが、長期間に渡った場合などはいいのかなと思います。</p> <p>今みたいにポツンと詰所があって、それが古くなって駄目になるんだったら、もし空いている小学校があればそこへ消防団詰所としての機能に移したほうがいいのではないかと思います。</p>
消防次長	<p>現在、自主防災組織も 13 地区にございますし、平常時は消防団と自主防災組織の方が連携して活動を行うこともあるものですから、コミュニティの大切さという意味でもそういったことは可能だと思います。</p>
D委員	<p>先ほど少し話がでましたが、例えば少子化で小学校は児童数が減っていく一方で、消防団員のなり手も段々と少なくなっています。</p> <p>逆に言えば、そこに命が存在する以上、消防団員になる人を育てていかないとその安全・安心は守られないわけなので、住んでいる人がいくらかおられる以上はそういった組織を逆に強固にしていけないといけない部分があるのではないかと思います。</p> <p>消防団は基本的にボランティアでやっておられるわけですし、こういった話はコミュニティと密着した問題だと思うので、守っていくべきだと思います。</p>
会長	<p>次のヒアリング項目でありますNo.4「小学校の統廃合に伴う跡地の利活用について」にも関係しているかと思しますので、そちらのほうをご説明いただけますか。</p>
事務局	<p>No.4の項目についてですが、まず、小学校の統廃合に伴って二次避難所としての機能をどうしていくのかというご質問かと思います。</p> <p>本来の担当は、地域協働課になりますが、現在、知立市との災害応援協定の締結式を行っておりますので、事務局のほうより簡単にご説明させていただきます。</p> <p>まず、二次避難所については、ある一定の広さにいくつの避難所を指定しなさいといったような法的な縛りは特になくのことです。</p> <p>それで、小学校については広さが大きいものですから、災害時などの二次避難所に指定しているということでもあります。</p> <p>統廃合により小学校がなくなった場合については、別に二次避難所を指定していく必要があるとのことですが、その際には、公的施設だけでなく民間施設についても視野に入れながら検討していく必要があるとのことでした。</p>
教委次長	<p>教育委員会としましては、学校という目的を果たした施設については取り壊しが原則であると思っておりますが、耐震化もされておりますので、他の用途への転用の可能性はもちろんあるものと思っております。</p> <p>特に、社会体育施設として、もうすでに夜間開放等で体育館やグラウン</p>

<p>消防次長</p> <p>A委員</p>	<p>ドはかなり使っておられますので、校舎はともかくとして体育館やグラウンドは社会体育施設として活用されるのかなというふうに思います。</p> <p>消防詰所について跡地への集約化という話ですが、先ほども言いましたとおり小学校跡地への集約については可能であると考えております。</p> <p>ただ、大規模災害で二次避難所に指定されている場合は、もし分団詰所があると消防団員が活動するのに若干支障が出る場合もあるのではないかとこのように考えております。</p> <p>そういったことから、集約化については困難であると思っております。</p> <p>ただ、先ほども言いましたとおり、いわゆるコミュニティ活動、地域に密着した活動を行っておりますので、その部分については逆に積極的にやっていかないといけないだろうと、そういう想いは常に持っております。</p>
<p>消防次長</p>	<p>分団詰所を新設するとしても、それほど費用がかかるわけではないですよ。</p> <p>大町の旧第2分団・荒町地区と旧第3分団・橋場地区を統合して新たに大町分団を造りましたが、その際にかかった経費が約2,000万円ございました。</p> <p>坪数にして、約40坪程度だったかと思えます。</p> <p>また、新しい詰所を造って、旧の第2、第3分団をどうするのかということではありますが、今、消防のほうで地元と協議を進めておまして、両地区ともに会館を持っていないものですから、いわゆる町内会館として利活用していただくということで協議を進めております。</p>
<p>会長</p>	<p>先ほど、小学校を二次避難所としているんだけど、統合・集約が進むとそういったところが二次避難所として使えなくなるということで、既存の施設でカバーしていくとのことでしたが、既存の施設で代替が可能なのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>現在、二次避難所に指定されているのが全て公共施設ですが、現時点においてもすべてをカバーできているとはいえないなかで、今後は民間施設も視野に入れながら検討を進める必要もあるのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>制度的に民間施設を二次避難所に利用するということは可能なのでしょうか。</p>
<p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>特に問題はないものと聞いております。</p> <p>統合後の小学校で、体育館を社会体育施設として活用されるというお考えをお聞きしましたが、それはいわゆる学校教育施設から社会体育施設へ変わるということで、これも何か制度的に転用に関する問題などはないのでしょうか。</p>
<p>教委次長</p>	<p>位置付けをどうするかということだと思います。</p> <p>例えるなら、天神小学校の跡地にあります公民館の横の体育館と同じよ</p>

<p>会長 E委員</p>	<p>うな扱いになるものと考えています。</p> <p>施設の転用ということに関しては、問題なくできるということですね。</p> <p>耐震も終わっていてしばらく使えるだろうということになって、だけど市としては統廃合を経費節減のためにやったことだから、その建物についての維持管理は地元のNPOか何かでやってください、ということもあり得るということですか。</p>
<p>教委次長 会長</p>	<p>もちろんそうだと思います。残す場合は地元管理になると思います。</p> <p>そういう形で、統廃合後の小学校を活用されている事例など、他の市町村であったりするのですか。</p>
<p>教委次長 F委員</p>	<p>たくさん出てきていると思います。</p> <p>県P連の講演で橋本五郎さんの講演をお聞きしたのですが、あの方の出身が秋田県ということで、秋田のご自分の出身小学校が無くなったときに、耐震化がされていた建物ということもあって図書館として活用したところ、お年寄りや色々な人たちが集まるようになって、ひとつの集いの場になったという話をお聞きしました。</p> <p>図書館は図書館としてあるんですけど、そこをふるさと文庫みたいな活用の仕方にしたらそうなったということでした。</p> <p>また、京都のほうでは、魚津の歴史民俗博物館のような文化継承的な施設として小学校の跡地を利用しているところもあるようです。</p>
<p>会長</p>	<p>今まで小学校が持っていたコミュニティの基盤としての役割は残しつつとなると、統合後にそういった形での機能を持たせるというのもやり方かなと思います。</p> <p>これまで、分団詰所だとか児童センターや社会教育の拠点であるとか、色々出てきましたが、そういった機能を小学校に集約させるということは可能なのでしょうか。</p>
<p>教委次長</p>	<p>3, 4校を統合して1つ新しい校舎を造った場合は、もとの地区には地域の拠点がいるでしょうし、新たに建てたところは、児童センターはともかくとして、地区を統合した公民館だとか分団の詰所だとかというところまではちょっと考えにくいかなと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>例えば、統合後の小学校の空き教室あるいは空き校舎、空き体育館をそういうものとして活用できるかということについてはどうでしょうか。</p>
<p>教委次長</p>	<p>それは十分活用できるかと思います。</p> <p>その場合、経費もそれほどかからないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にございませんか。無いようであれば、これで教育総務課のヒアリングを終了したいと思います。長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>続きましては、こども課からお話をお聞きしたいと思います。</p> <p>ヒアリング項目は2点でございます。</p>

	<p>こども課長</p>	<p>ヒアリング調書の回答欄を中心に簡潔にご説明いただいた後、質問等にお答えいただければと思います。</p> <p>それでは、まずヒアリングNo.5「保育園の規模適正化について」という項目につきまして、ご説明願います。</p> <p>それでは、まず保育園の規模適正化についてでございますが、ご承知のとおり少子化が大変進むということで、小学校のみならず保育園、幼稚園についても以前から適正配置は検討されておりました、平成15年あたりから市役所内部でも検討会において協議をしておいたところでありました。</p> <p>今回のご質問のなかで、まずどの程度の公立保育園を保有すべきかというところでございますが、これについては正直なところどの程度が適正な数かというところはまだ結論には至っておりません。</p> <p>現在、公立が9園、私立が8園ございまして、あと幼稚園も公立2園、私立が1園あるわけですが、保育園について、これまではある程度バランスよく運営されてきておりましたが、やはりこれだけ少子化が進むことと、また、施設の老朽化も進んできたところで、まずひとつには民営化ということが検討課題として挙げられておりましたが、これも色々な理由で民営化がうまくいかなかったということがありまして、現在は、民営化を一旦棚上げしまして、適正配置というところで検討していくという姿勢であります。</p> <p>また、平成24年8月に子ども・子育て関連3法という法律が成立しまして、その中で認定こども園の拡充であるとか、色々な保育園や幼稚園の運営に関する補助の体系等、制度が大きく変わることになりまして、2年後の平成27年4月に消費税増税に合わせて実施される予定であります。</p> <p>そういったことから、これまで考えてきた配置計画なども一旦リセットせざるを得ないという状況でございます。</p> <p>また、法改正に伴って各市町村でも色々な準備をしないといけなくて、例えば市のほうでは、今まで以上に保護者の方々に対しての保育の必要量の調査を行ったり、また、それをもってこの子はどれくらいの保育が必要だという認定をし、併せて認定証を交付するという作業が出てきました。</p> <p>そういった色々な作業が増えてきましたし、子ども・子育て支援事業計画というものも調査などに基づいて策定しないといけないということで、その計画の中で保育園とか幼稚園の配置を考えていくという状況に変わってきました。</p> <p>担当課としましても、保育園が現在17園あるわけですが、それが決して適当だとは思っておりませんので、公立は特に9園ございますので、いずれは何園かに持っていきべきだろうと思っております。</p> <p>そういったところを、平成27年度の国の制度改正に合わせて、なるべ</p>
--	--------------	--

<p>会長 B委員</p> <p>こども課長</p>	<p>く早期に廃止計画等も組んでいかないといけないというふうに考えていますけど、今現在でいえばそういった経緯があるものですから、詳細については何ともいえないというところがございます。</p> <p>また、民間へのシフトについてでございますが、これだけ子どもが減ってきますとやはり私立のほうの定員はなるべく維持しつつ、公立のほうは徐々に下げていくというように、ウェイトを民間のほうへシフトしていくということはある程度長期的に考えておりまして、今現在、1,400人程度の園児がおりますが、割合でいうと私立が約900人、公立が約500人となっており、大分民間のほうにシフトしていっていると考えております。</p> <p>ただ、ご承知のとおり片貝であるとか松倉であるとか西布施であるとか山手のほうの保育園は、やはりどうしても保護者のニーズに合ったというか、希望などを取ってみますと、一番多いのが自宅に近いところがいいという理由で子どもを預ける方が大半であります。</p> <p>ですから、山手のほうの保育園については、当分は公立でやっていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、小規模な保育園についてはどういうやり方がいいのか、今検討しているところであります。</p> <p>なお、公立の保育園で一番古い昭和46年建ちの魚津愛育園につきましては、平成25年度末をもって閉園ということで決定しておりますし、経田幼稚園についても同様に、平成25年度末をもって大町幼稚園に統合することが決定しております。</p> <p>それでは今ほどのご説明につきまして、ご質問等あればお願いします。</p> <p>保育園にしろ幼稚園にしろ、理念として幼児をいかに導いていくかというところがあると思いますが、なるべくそれを民間に委託していく、それと公立を減らしていくことについて、その理念との関係をどうお考えでしょうか。</p> <p>ひとつには、やはりコストということがあるかと思います。</p> <p>といいますのも、以前、三位一体改革の前までは公立の保育所へも国から補助金がきておりましたが、三位一体改革により一般財源化されまして補助金がなくなりました。</p> <p>一方で私立については、現在も国からの補助はしっかりと残っているということから、単純にそういった補助金の関係から見ましても、コスト的にいうと私立のほうの方が公立よりも経費的に助かる部分はあるだろうと思います。</p> <p>それと、公立ですとどうしても施設の管理運営につきましても、ある程度一定の基準を持たないといけないというところもありまして、私立と比べるとなかなかフットワークが軽くないというか、小回りが利かないとい</p>
--------------------------------	---

		<p>うところがございますので、そういった面からもやはり私立の柔軟な考えで保育できるというのは利点ではないかと思っております。</p> <p>ただし、民営化については、いくつかの保育園をモデルにして検討をしておりましたが、ひとつには地元の反対などもございまして、なかなかスムーズに移行できなかったのは事実です。</p> <p>現在、制度改正に伴いまして、こども課としても民営化について民間保育所の方の意見も聞いておりますが、仮に公立保育園を引き取るか聞いてみてもなかなか積極的に動こうとする私立の保育所は、現在の市内の保育所の中ではあまりないように見受けられます。</p> <p>全国的には、民間で運営している保育所というのはたくさんあるというふうに聞いておりますけど、県内については、おそらく民間等でうまくいっているところはあまりないのではないかと思います。</p> <p>公立を維持すれば、ますます民間を圧迫するようには思いますが、公立の定員を引き下げていき、同時に統合配置計画において、基本的に老朽化が進んでいる保育園もいくつかありますので、そういうところも含めてなるべく早期に統合を進めていって、また、私立からの意見も聞いて調整しながら配置を考えていきたいというふうに思っています。</p>
B委員 こども課長		<p>例えば、山手のほうの、経費面でもそうですし様々な面で経営が困難だということところは公立でしっかりと守って、逆に街中のほうの保育園は民間へ任せてしまえばいいんじゃないかという考えもあろうかと思うのですが、先ほどから出ている再配置というのは大まかな方向とすればそういう方向というふうに理解してもよろしいですか。</p>
会長		
こども課長		<p>まず、民間の保育所の方々についても、それぞれ社会福祉法人の今までの経過などもありますので、単純に民間として合併というのは難しいと思いますし、山手については、どうしても当分は公立である程度運営していかないといけないとは思っています。</p> <p>ただ、児童数が減る中で、いつまでにどういうかたちで考えていくかというのは、我々もこれからの一番重要なところであると思っておりますが、これから小学校の統廃合も進められていく中で、そういったことも加味しながら保育園などの配置計画を考えていく必要があるものと思っております。</p>
B委員		<p>小学校には学区というものがありますよね。保育園にもそういうものがあるのですか。</p>
こども課長		<p>保育園にはありません。</p>
B委員		<p>そうすると、少々遠くても父兄の車で送り迎えすることは可能なわけですね。</p>
こども課長		<p>市外から魚津の保育園に来ておられる方もおられますし、逆に、魚津か</p>

F委員	<p>ら市外の保育園に通っておられる方も何人かおられます。</p>
	<p>保育園は、お母さんの職場の関係で、やはり自分の通勤ルートに近いところに今のお母さんは預けているみたいです。</p>
	<p>あと、保育園でも最近は学習面に力を入れたり、特徴を出しているところも出てきています。</p>
会長	<p>意欲的な試みをやっておられるところというのは、だいたい私立の保育園でしょうか。</p>
保育係長	<p>そうです。例えば、絵とかでしたら天神保育園とかが力を入れておられますし、色々な意味で特色ある保育をしているのは私立の保育園です。</p>
	<p>公立の場合は、どうしても平均化せざるを得ないということが当然あると思いますので、特色のある保育となると民間になるかと思います。</p>
会長	<p>続きまして、ヒアリングNo.6の「児童センターの民営化について」、ご説明願います。</p>
こども課長	<p>児童センターの民営化につきましては、先ほど教育委員会からも少しお話がありましたが、やはり小学校の近くにあるのがいいだろうと思っております。</p>
	<p>そもそも、なぜ児童センターがあるかといいますと、次世代育成支援対策推進法に基づき市のほうで次世代育成行動計画というものを作っております、そのなかで児童センターについては、小学生等の放課後及び休日の集いの場ということで重点的に実施しているところであります。</p>
	<p>市町村によってはあまり無いというところもありますが、魚津市では5館ありまして、そのほかにも公民館とか小学校の空き教室などで学童保育を実施しています。</p>
	<p>児童センターについては、施設そのものの運営は指定管理として社会福祉協議会へ委託しており、それとは別に学童保育も別の予算で実施しているところであります。</p>
	<p>児童センターの民営化ということになりますと、施設の管理をすでに指定管理委託していますので、そういう意味ではある程度民営化しているのかなと思っています。</p>
	<p>また、学童保育については、学校との調整や色々な要件がありますので、現状のスタイルでいいのかなと考えております。</p>
	<p>ただ、空き教室の活用とかその辺も含めて、先ほどの子育て3法においても学童保育をさらに充実せよということで、魚津市では現在、小学校3年生までが学童保育の対象なのですが、いずれは小学校6年生まで拡充すべきだという考えもございます。</p>
	<p>そういった点を踏まえてみると、現在でも児童センターは満杯なんです、6年生までとなると新たな場所なども考えていけないとい</p>

		うことで、そういった点については、今後、学校とも相談していく予定にしています。
会長		現在、5館の児童センターが設置されているとのことですが、これはどういった基準により配置されているのでしょうか。
こども課長		児童センターについては、吉島小や道下小などある程度児童数が多い小学校を対象として造られたものと理解しております。
会長		児童センターで提供されている様々なサービスですが、これは必ずしも児童センターという施設がないと出来ないものなのでしょうか。
保育係長		児童センターは、子供達が安全・安心に利用できる、子供達への遊びの場の提供という子育て支援施設として、これまで建ててきたんだろーと思えます。 じゃあ、他の施設で代用できるのかということですが、それはまた別の話なのかなと思います。 学童保育に限って言えば代用は出来ると思えます。 児童センターでは、一般の方を対象に午前中の空き時間を利用して親子教室などを無料で行っていますが、それとは別に学童保育とって、放課後に子供達の学校が終わってから、保護者から料金をいただいて子供達の面倒を見るということもやっております。 5館以外のところは、公民館や学校の空き教室などで学童保育のみ行っておりますので、そういったところはどの施設でも実施は可能だろーと思えます。
会長		学校の空き教室にそういう児童センターの機能を持たせて、そこを児童センターとするというようなことは無理なののでしょうか。
保育係長		児童センターは遊びの場の提供なものですから、体育館のような施設が児童センターにはあるわけですが、そういったものの確保とか、ただ子供達を集めて勉強だけさせるとか、簡単な遊びだけさせれば良いというようなものではないので、むしろ空き教室というよりも、どちらかという小学校の横に別棟でそういった施設を造ってということであれば、より現実的だろーと思えます。 国のほうでも所轄が文部科学省と厚生労働省とで違いますし、そういったところでも難しいところがあるのではないかと思います。
A委員		児童センターを運営するうえで、職員の資格だとか人数的な決まりはあるのですか。
保育係長		児童福祉法で決められておまして、25人に1人の職員といった決まりがあります。あと、資格については、保育士資格や幼稚園教諭の資格を持っているのが好ましいというふうに規定されております。 なので、実際資格を持っていない方も配置したりもしています。

15 : 05	A委員	<p>この先、学校もどうなるかも分からないという不確定のなかでの想定、また、公民館も各地区にあって非常に老朽化しており、これからどうしていくかという問題もあるのですが、例えば公民館の中にこういう子供達を預かるものを入れ込んでいったほうが、二つ一つというか、両方のいいところを活用するというプラス効果があるような気がします。</p> <p>そこにいる大人が子供達の安全も見守りながらというような効果があると思います。</p>
	こども課長	<p>すでに西布施や上野方などいくつかの公民館で学童保育を実施していますが、毎日となるとやはり公民館のほうも大変らしくて、週1回とか月2、3回とかそういうレベルなら公民館でも十分可能だというふうに聞いています。</p> <p>富山市のほうでも、公民館を子どもの居場所にということで、そこで自由に遊べるようにしているところもあるようですので、そういったところも参考にしながら、なるべく柔軟に対応していかないといけないというふうに思っております。</p>
	E委員	<p>現在、市内に5館の児童センターがあるわけですが、児童センターが無い地区からの新設の要望みたいなものはないでしょうか。</p>
	保育係長	<p>今はそれほど大きな声は聞こえてきておりません。</p> <p>過去にはひょっとしたらそういったこともあったのかもしれませんが、どちらかという児童センターよりも学童保育の要望があると思います。</p> <p>例えば、西布施では学童保育のミニ版という形でやっているものですから、そういった意味で学童保育の要望はありましたが、結果的には地区でもまとめきれなかったということで、最終的に学童保育のミニ版としてかがやき教室を学校の空き教室を利用しながら実施しています。</p> <p>なお、市内に5館の児童センターがあるというのは、県内でも多いほうではないかと思えます。</p>
	会長	<p>それだけの施設を今度建て替えるとして、公民館なり他の公共施設との複合化を図る余地はありますか。</p>
	保育係長	<p>適切な場所やニーズがあれば可能だと思います。</p> <p>ただ、公民館と児童センターでいえば国の管轄が違うとは思いますが、市内でも片貝小学校と片貝保育所が一つの例としてありますので、そういった併設という形であれば可能だろうと思います。</p>
	会長	<p>他に何かございますでしょうか。</p> <p>無いようであればこれでこども課からのヒアリングを終了します。</p> <p>どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、ここで10分程度の休憩を取りたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">【休 憩】</p>

15 : 15	<p>会長</p> <p>生涯課 課長</p> <p>会長</p> <p>E委員</p> <p>生涯課 課長</p>	<p>それでは後半のヒアリングを始めたいと思います。</p> <p>まず、生涯学習・スポーツ課からお話をお聞きしたいと思います。</p> <p>全部で5項目ございますが、担当課の方には恐れ入りますが、各項目ごとに簡単にご説明いただきたいと思います。</p> <p>それで一項目ずつ終わりましたらそれぞれ質疑応答という形で進めさせていただきます。</p> <p>それではまず最初に、No.7の「総合体育館の廃止について」、説明をお願いします。</p> <p>総合体育館の廃止についてであります。現在、総合体育館は年間81,567人の利用があります。</p> <p>平日の利用は1日平均200人程度で、平日の夕方は毎日中学校の部活動練習に、夜間はジュニアのクラブ及び一般の団体に利用されており、夜間は利用予約が全部埋まっている状態です。</p> <p>ありそドームにおいても夜間の利用予約は全部埋まっている状態です。</p> <p>総合体育館での土・日曜日に開催される大会は年50日で毎週のように大会または行事が催されております。</p> <p>ありそドームでも多くの大会及びスポーツ以外の各種行事が毎週開催されており、両者の行事等を1箇所ではまかなうことは困難なことから、総合体育館は維持する必要があると考えております。</p> <p>小学校の統廃合による学校体育館の跡地利用につきましては、各小学校の体育館において体育施設の夜間開放を行っており、年間約43千人の利用があります。</p> <p>学校統廃合により廃校となった後でも、地域にとって廃止された小学校の体育館の機能は必要と考えております。</p> <p>この点について、ご意見やご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>耐震の費用について、見積もりは取られているのでしょうか。</p> <p>総合体育館及び温水プールにつきましては、耐震診断はまだ未診断ということでありまして、総合体育館は昭和50年、温水プールは昭和54年の建設で、旧耐震基準でありますので、診断してみないと分からないということでございます。</p> <p>耐震補強費は、概算では平米当たり40,000円という平均額が出ておりました。正確な診断をしていないので分からないのですが、総合体育館の大体育館だけでいうと概算で1億6,400万円という耐震補強費がかかる見込みです。</p> <p>温水プールについては、8,600万円の補強費が、標準的な見方ではそれくらいになるものと思っております。</p>
---------	--	--

E 委員	生保 課長	<p>診断される予定はあるのでしょうか。</p> <p>担当課としてはその必要性は感じておりますが、施設の将来的な方向がまだ分からないということで今のところは未定ということでございます。</p>
会長		<p>小学校が統合された後、どのくらいの体育館が空くのか分からないところもあるのですが、そうなったときには、例えば今、総合体育館でやっているような活動というのは、それぞれの小学校の体育館を活用してということではできないですか。</p>
生保 課長		<p>通常の例えば部活動で、大会の規模にもよりますが、当然中学校から近い距離にあるということが非常に重要でありまして、10km も自転車で行けということでは言えませんので、その距離によるだろうと思います。</p>
E 委員		<p>プールはともかくとして、総合体育館の役目を考えると、診断して耐震化にいくらかかって何年は使えるということだけは分かったほうがいいのかではないでしょうか。</p>
A 委員		<p>これだけ利用度が高い施設ですし、体育というのは単に体を動かすということだけではなくて、健全な精神、心を育てるには教育的な見地からいうと大切なものであって、より一層盛んになることが望まれるところだと思います。</p>
生保 課長		<p>今でさえこれだけ利用度が高いので、どこかに代替の施設が出てこない限りは、やはり必要不可欠という判断になります。</p>
生保 課長		<p>今の現状の段階で即廃止というのは、かなりの利用がありますので色々な弊害が生じるものと思っております。</p>
B 委員		<p>手狭ということはないのでしょうか。</p>
生保 課長		<p>ありそドームもありますし、他の市も大体2つの体育館を持っておりまして、大きな大会の場合は両会場を使うときもあります。</p>
D 委員		<p>東西に中学校がありますが、中学校の体育館の土日における使用頻度というのはどのくらいでしょうか。</p>
生保 課長		<p>平日であれば、ほぼ毎日、グラウンドと体育館は夜間開放が入っております。土日については、部活動の利用状況などについて、こちらでは把握しておりません。</p>
D 委員		<p>総合体育館については、市内の方々での対抗試合として使うことが多く見られるのですが、東西の中学校の体育館を開放して、そのような利用に使うということは可能でしょうか。</p>
生保 課長		<p>中学校は当然ながら学校行事優先ということになりますので、日程的に全てを受け入れるということではできないと思います。</p>
F 委員		<p>中学校の体育館については、土日は部活でいっぱいだと思います。</p>
E 委員		<p>学校の体育館が満員だから総合体育館で部活動をしているんですよね。いずれにしても、耐震の費用は見積もる必要があるのではないですか。</p>

生保課長	<p>総合体育館は、大体育館と中体育館と温水プールがつながっているということで、大体育館だけ耐震診断しても駄目なので、するなら3つともしないといけないということになって、それなら3つとも耐震補強をしないといけないとかそういう話になるので、最終的には施設の方向性というのが大事な要因であると思っております。</p>
E委員	<p>プールだけ別に考えるということは可能ですか。</p>
生保課長	<p>プールは一応別棟なので、構造上は可能だと思います。</p>
会長	<p>それでは、温水プールについても併せてご議論いただきたいと思っておりますので、続いてNo.8の「温水プールの必要性について」、ご説明願います。</p>
生保課長	<p>温水プールは昭和54年に建設され、建築から33年が経過し老朽化が進み、耐震補強も必要と考えられます。</p> <p>魚津市民でも隣接市の温水プールを利用している人もおり、新しいプールの建設が望まれています。</p> <p>中学校では既に、水泳の授業を温水プールで行っており、民間バスを借上げ生徒を送迎しています。</p> <p>小学校では、市体育協会からの提案により、希望する一部の小学校、学年の水泳授業を温水プールで行い、体育協会のバスで児童を送迎しております。</p> <p>また、保育園、幼稚園も温水プールを利用しています。</p> <p>ただし、夏休み期間中のプール開放はすべての小学校で行われており、温水プールで市内全体の小学生の利用に対応するには、小学生の人数が多すぎるため難しいと考えられます。</p>
会長	<p>それでは、先ほどの総合体育館と合わせまして、なにかご質問などございませんでしょうか。</p> <p>総合体育館と温水プールについて、一体となって建っていることによって何か経費的に節減できているところなどあるのでしょうか。</p>
生保課長	<p>両施設一体として指定管理委託をしているので、職員間の移動などという面から見れば助かっていると思います。</p>
A委員	<p>体育館はなかなか民間というわけにはいかないんだろうけど、プールの場合には民間経営ということも、他市にいくと例はあるのでしょうか。</p>
生保課長	<p>管理を民間のスイミングスクールにできるかどうかというご質問かと思いますが、都会のほうでは結構あると思います。</p>
A委員	<p>今、魚津市で問題になっているのは建物自体のことなので、そのことは的外れということでしょうか。</p> <p>何もかも民間が新設でプール施設を造って運営するという例はないのでしょうか。</p>
生保課長	<p>そのことについては、次の項目になるかと思っております。</p>

<p>会長 生本 課長</p>	<p>それでは、次の項目のNo.9についてご説明願います。</p> <p>次の項目は、温水プールの広域化で、隣接する市町村と一体的に共同経営でプールを建設出来ないのかということと、民間の力を活用してプール建設・管理まで出来ないのかというご質問でございまして、そのことについては、黒部市や滑川市には既に比較的新しい温水プールがあり、建設の予定はありません。</p> <p>広域的に近隣市と共同でプール建設をする場合は、建設費用の負担按分が当然必要であり、仮に共同で建設する場合は協議する必要があると考えております。</p> <p>個人利用では魚津市民が黒部市や滑川市のプールを利用することもあります。魚津市の学校の水泳授業や水泳競技会を黒部市、滑川市のプールで実施する場合は、地元の利用が優先されることから、日程の確保、調整が難しいと考えられます。</p> <p>なお、滑川、黒部市も7月中は中学校の水泳授業を温水プールを使って実施しているということでもあります。</p> <p>民間によるプールの建築例としましては、PFIによる建築例が全国でございまして。</p> <p>これらは規模が大きい都市での建築が多いようで、管理運営を民間が実施している場合は会員制度をとっている例が多く、個人での利用料金もかなり高めの設定となっているということでもあります。</p> <p>PFI方式によって建設と維持管理を行う場合は、問題点というものもありますので、研究をしていく必要があるものと考えています。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、総合体育館とプールにつきまして、改めてご質問などあればお願いいたします。</p> <p>黒部市や滑川市と共同利用というのは難しいとのことですが、実際に体育館や温水プールについてこういうことをやっているような自治体というのはあるのでしょうか。</p>
<p>生本 課長</p>	<p>ごみ焼却場のように広域圏で建てた場合は、広域的な利用というのはあるとは思いますが、各市町村で建てたものを他の市町村が利用するというのは難しいと思います。</p> <p>やはり建てたところが優先的に利用するということになると思います。</p>
<p>会長 生本 課長</p>	<p>近隣他市にあるプールなどを利用するというのは、解決すべき問題が多すぎるということでしょうか。</p> <p>当然のことながら、費用負担も全く出していないのに使わせて欲しいというのは難しいと思います。</p> <p>その施設がよほど利用率が低い場合は別ですが。</p> <p>黒部市も滑川市も当面はプールを建てないと思うので、魚津市がプール</p>

	<p>を造るのでお金を出して欲しいと言ったとしても当然出さないだろうと思われま。</p> <p>また、魚津にプールを造るから黒部市や滑川市から利用して欲しいといっても、自分のところにすでにあるということになると思います。</p>
D委員	黒部や滑川のプールはいつ頃造られたものですか。
生保係長	黒部は平成元年で、滑川は平成6年です。
E委員	規模は魚津市と同程度ですか。
生保課長	プールは、公認プールといえますか、競技用で使う場合の基準がありますので、それぞれ基準どおりのプールになっています。
E委員	現在の温水プールはかなり老朽化していると思いますが、それを耐震化したりあっちもこっちも修繕したりするととなると、新築するのと同じくらいの金額になるのではないですか。
生保課長	<p>プールは塩素を使っていますので壁もボロボロになっていますし、体育館と違って痛みが早いと思います。</p> <p>配管も当然、塩素ですので痛みが早いです。</p> <p>今のプールは、配管ピットではなくて地面に直埋めなので、最近のプールはピット式で床下に潜れるようになっているのですが、今の温水プールは違うので、漏水などがあれば1回1回床をはぐらないと分からないということで、結構修繕するたびに高つくということになります。</p>
E委員	そしたら、今の段階であるプールをどうこうするというような問題ではないということですね。
生保課長	時間の問題で、あと何十年ももつものではないと思います。
B委員	建替えるとして、具体的な場所をどこか考えておられますか。
生保課長	<p>まだ市の方針が出ておりませんので、特に考えてはおりません。</p> <p>ただ、広大な敷地を必要としますので、ある程度限られてくるのではないかと思います。</p>
B委員	<p>今の場所ですと、体育館があってグラウンドもあるんですけど、駐車場が狭いですよね。</p> <p>利用者にとっては不便なところだと思いますので、そういったことも考慮に入れていかないといけないと思います。</p>
E委員	今の温水プールの熱源は重油ですか。
生保課長	灯油を熱源でやっております。
E委員	もし温水プールをありそドームの近辺へ持っていったとしたら、ありそドームが終末処理場の処理熱を使って冷暖房しておられますが、その余力を使うことは可能でしょうか。
生保課長	ありそドームは、現在、浄化センターの処理水を夜間の蓄熱で50℃まで温めて、それを熱交換したものを空調の冷暖房に使っているという仕組み

<p>会長 生協 課長</p>	<p>になっております。</p> <p>浄化センターの処理水の熱源ですが、今のところありそドームの空調のみの熱源量しかないということでもあります。</p> <p>冷暖房ですから、基本的に夏と冬をメインに使っているわけですが、じゃあ春と秋に使えないかといわれると、それは技術的な問題になりますので、今の段階では分かりません。</p> <p>ただ、ありそドームの周辺であれば駐車場を共用できますので、新たに駐車場を確保する必要がないというメリットと、職員の行き来が簡単に出来ますので、管理費を削減できるというメリットはあるかと思えます。</p> <p>P F I について、使うのは少し難しいのでしょうか。</p> <p>P F I にも色々あると思うのですが、一時的な資金がいらぬというメリットはあるかと思えます。</p> <p>通常ですと、大手のゼネコンと大手のスイミングスクールが会社を作って P F I をやるということで、地元の入る余地は今までの例をみるとないものと思われまますので、地域経済の活性化という点では問題があるものと思えます。</p> <p>また、P F I は、例えば 15 年間だけ出来ればいいという契約であれば 15 年間しかもたない建物を作ってしまうという問題もあると思えます。</p> <p>そういったことを検証しないと、ただ安いからいいということになってしまう可能性もあるので、問題点を研究してからでないといけないと思っています。</p>
<p>会長 生協 課長</p>	<p>いずれにしても、耐震診断はしたほうがいいですよ。少なくとも体育館はしたほうがいいと思えます。</p> <p>温水プールのほうはそれでも維持費あるいは施設設備自体の修繕費がかなりかかっているということですよね。</p>
<p>生協 課長 E 委員</p>	<p>温水プールについては、耐震診断するまでもないと思っております。</p> <p>逆に、維持費や修繕費がすごくかかっているのであれば、早めに新しいものを建てる方向にいったほうがいいという判断になるのでしょうか。</p>
<p>生協 課長 E 委員</p>	<p>今はだましましというか、延命措置をしている段階です。</p> <p>どこかのタイミングで大きな故障などがあればそれで終わりということですね。</p>
<p>生協 課長 会長</p>	<p>そういう可能性もあります。</p> <p>新しいものを造れば年間維持費がこのくらいで、現状維持だとどのくらいだとかといったシミュレーションはしていないですか。</p>
<p>生協 課長 会長</p>	<p>まだ市の方針が出ておりませんので、特にしておりません。</p> <p>どちらが先か分かりませんが、シミュレーションをしてみないと建てるべきかどうか方向性を出せないということもあると思えます。</p>

	<p>他に無いようであれば次に進みます。</p> <p>次の項目は、No.10の「市内体育施設と近隣他市町における類似施設との利用料金の比較について」ということで、こちらについて簡単にご説明願います。</p> <p>近隣他市町の体育施設の利用料金がどのくらいかということで、料金表をお配りしておりますが、各市町の主要体育施設は、オープン時に近隣の類似施設の料金を参考に利用料金を決めていることをございまして、どこの市町村も基本的には同じような金額設定になっているということでございます。料金表の一覧をご覧ください。</p> <p>こちらの表は、魚津市、滑川市、黒部市、入善町、朝日町の体育施設の利用料金表ですが、体育館について見てみますと、利用料金はどちらも200円程度ということで基本的に同じような金額になっております。</p> <p>次にプールですが、魚津は1回200円、滑川は2時間で360円、黒部は2時間で200円、入善は半日100円、朝日はらくち一のというところでやっておりますが、420円となっております。</p> <p>次に野球場ですが、魚津の桃山野球場は他に比べて良い施設でありますので、全面1日で6,300円という設定になっております。</p> <p>滑川市は、練習2時間で1,050円と差があります。</p> <p>黒部市は、日中が無料で夜間が5,000円であります。</p> <p>陸上競技場については、魚津は桃山が2時間で100円、他の市町では無料というところもございます。</p> <p>武道場については、魚津は東西中学校の武道場を使っておりますので、基本的に無料ということになっております。</p> <p>ご覧のとおり、基本的にはどこの市町村も横並びの料金設定になっているかと思えます。</p>
<p>生球 課長</p>	<p>料金設定については、確か安すぎるのではないかという意見が出ていて、少し担当課に聞いてみようということだったかと思えます。</p> <p>近隣市町村との比較でいえば、ほぼ同一水準ではないかということだと思います。</p> <p>何かご質問などいかがでしょうか。</p> <p>例えば、施設を整備されるとして、当然それなりの費用はかかって、後々利用料・使用料を徴収していくというかたちですけれども、この利用料・使用料という考え方というのは施設整備のためではなくて、日々の運営経費の一部を補填するみたいな考え方なのではないでしょうか。基本的な考え方というのは何かあるのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>基本的には利用される方が利用しやすい料金の設定の仕方ということで、元を取るというよりも、利用したい方により利用してもらえるような</p>

		<p>ことを考えた料金設定になっております。</p> <p>ありそドームのランニングコースについては1回100円なわけですが、黒部は無料なので合わせて無料にすべきではないかという意見も聞いております。</p>
D委員		<p>ちなみに黒部はロッカーに100円取っているので、どこで取るか考え方次第だと思います。</p>
会長		<p>利用しやすい料金というところは、確かに一番考えないといけないところだとは思いますが、そうすると市の予算から持ち出しといいますか、それが増えていくということで、ある意味、他に使えた予算をこちらに回しているということでもありますので、利用される方からそれなりに負担を求めるといっても根拠は無くはないんじゃないかなという気がします。</p> <p>そういう考え方は、今のところあまりないということでしょうか。</p>
生保課長		<p>当然のことながら、県内の平均利用料とかも出ておりますので、色々な考え方をもとに料金設定をしていく必要があると思っています。</p>
E委員		<p>いずれにしても安すぎると思います。</p>
A委員		<p>民間の場合では、コスト計算して料金を決めることもあるのですが、その代わりに、その料金を理解してもらうために様々なサービスを外に向けて発信しています。</p> <p>行政の場合は、最初から安い料金でしているもので、なかなかそういうやり方も出来ないんだろーと思います。</p>
生保課長		<p>民間の場合、会員制にして会員のみがサービスを受けられるということでは年会費などをとっていますが、行政の場合は、不特定多数の方に利用させてあげなければならないということで、元々の考え方が違うところはあると思います。</p>
会長		<p>このままずっといってしまうと、なかなか施設自身を整備できなくなってしまうかねないというところがあると思います。</p> <p>造るときの建設費だけではなくて、後々の運営コストもこれだけかかるみたいなことになってしまうと、結局財源の問題で造れなくなってしまって、市民に不便をかけることになりはしないかということが気にかかる所です。</p>
D委員		<p>先ほどからの議論を踏まえると、例えば、総合体育館とプールにプラスして、さらに他の施設を入れるということを考えて、維持管理費を安くするという形を考えていかないといけないだろうと思います。</p> <p>複合施設として運営することによって合理的な管理ができ、管理費が安くなるというところを考える必要があると思います。</p> <p>当然、老朽化が進んでいるので、今後、建替えとかになったときにそういった提案を担当課から出していただくというのは必要なのかもしれま</p>

	<p>生保 課長</p> <p>会長</p> <p>生保 代理</p>	<p>せん。</p> <p>もし建て直すということであれば、維持管理費が当然下がるようなことを考える必要はあると思います。</p> <p>それでは、次の項目に進みたいと思います。</p> <p>次はNo.11「市内文化施設と近隣他市町における類似施設との利用料金の比較について」ということで、担当課よりご説明願います。</p> <p>まず博物館施設ですが、博物館施設というのは博物館法で定められておりまして、博物館法のうえでは公立博物館は、入館料その他博物館資料の利用に対する対価を徴収してはならないとなっております。</p> <p>ただし、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができますというふうに規定されております。</p> <p>それで、実際には博物館というのは、歴史・郷土関係の博物館ですとか、理工・自然史関係の博物館ですとか、水族館・動物園・植物園というのも博物館ですので、それぞれ利用料金等内容は異なっております。</p> <p>基本的には、規模及び内容に合わせて、必要最低限の入館料を設定しているところではありますが、展示の内容、企画展の実施により料金体系が異なる場合もあります。</p> <p>お配りしている資料をご覧いただきたいのですが、最初に郷土・歴史博物館の資料をご覧ください。</p> <p>魚津市には、歴史民俗資料博物館がございます。また、各市町村見えていきますといろいろとあるわけですが、料金のほうを見ていただきますと、歴史民俗博物館は無料となっております。他にも無料の博物館はありますし、全体としては200円から300円、高くても500円というふうになっております。</p> <p>次に、美術館分をご覧ください。</p> <p>魚津市には美術館はないのですが、朝日町、入善町、黒部市などにございまして、こちらのほうの料金は、先ほどの郷土・歴史博物館よりもやや金額は高くなっておりますけれども、基本的には200円から高いところで700円というふうになっております。</p> <p>なお、企画展のときは別料金にしているところも多いかと思えます。</p> <p>次が理工・自然史博物館でございます。</p> <p>魚津市の場合は、埋没林博物館がここに該当いたします。</p> <p>料金のところを見ていただきますと、無料というところもかなりございますし、富山の科学博物館でも500円、ほたるいかミュージアムが通常600円でシーズンになると800円ということではありますが、基本的にはそれほど高くはないということになっております。</p> <p>次に、水族館・動植物園でございます。</p>
--	-------------------------------------	---

	<p>魚津市には魚津水族館がございますし、富山にはファミリーパーク、高岡には古城公園動物園といったように色々ございまして、単純に比較できないものですから、県外の例ということで、新潟県や石川県の水族館・動物園を載せてあります。</p> <p>見て分かりますとおり、規模の大きなところに関しては 1,800 円とか 2,000 円近い金額のところもございますし、魚津水族館では 730 円、ファミリーパークですと 500 円というふうになっております。</p> <p>先ほども申しましたが、実際には展示内容や企画展によって料金が変わってくるというのが現状であります。</p> <p>それで、歴史民俗博物館につきましては、過去に有料の時代がございました。</p> <p>ただ現実的に、入館料を取るときに必要なチケットを用意するための印刷代と入館料を比較した結果、最終的に無料ということで、現在に至っております。</p> <p>歴史民俗博物館につきましては昭和 40 年代の建物ですので、かなり老朽化が進んでおりまして、今後のあり方をどうしていくべきか考えていく必要がある施設だと思っております。</p> <p>次に貸し館施設でございます。</p> <p>お配りしました貸し館施設使用料という資料をご覧いただきたいと思いますが、県内東部の代表的な貸し館が記載されております。</p> <p>ここに載せてある施設については、全て指定管理となっております、資料にも管理者を載せてございます。</p> <p>もう一枚の貸し館の資料をご覧ください。</p> <p>新川地区の各市町における貸し館設備などを載せてございますが、魚津の場合、音楽練習室が他の市町と比べてたくさんあるというのが現状であります。会議室もたくさんございます。</p> <p>貸し館施設につきましては、魚津市内には新川学びの森交流館と新川文化ホールの 2 施設がございます。</p> <p>どちらの施設も料金の設定の際には、周辺施設の使用料を比較調査しまして、金額を決めております。</p> <p>それと、新川文化ホールにつきましては、ある意味、新川地区の県営施設というような意味もございまして、基本的には新川文化ホールの料金は県民会館の料金を考慮しております。</p> <p>学びの森交流館につきましては、そういう中におきまして、やや不便な場所にあることから、利用を促進するため、より安価な料金設定になっております。</p> <p>また、料金設定の際に、営利目的の使用を想定していなかったことから、</p>
--	---

	<p>営利使用の割り増し料金や土日祝日料金の設定はありません。</p> <p>学びの森交流館に関しましては 1985 年に建設されていますので、建設後 30 年以上が経過しており、耐震診断も行われていない状況であります。</p> <p>また、施設面におきましても設備が老朽化しているということもありますので、引き続き活用するためには改修が必要な施設であると思っております。</p> <p>新川文化ホールの使用料につきましては、ホールについては県条例で決まっております、展示ホールや会議室は市条例で定められています。</p> <p>ですから、ホールの利用料金を変更するといった場合には、県の条例改正が必要になりますので、なかなか難しいところがあるものと考えております。</p> <p>新川文化ホールに関しましても、開館してからすでに 17 年が経過しておりますので、設備の面におきまして最近修繕が出てきております。</p> <p>市内 2 施設の最近の傾向ですが、まず 2 つを比較いたしますと、使用料に差がございまして、やはり、利用者のほうとしては目的に合わせて安価の方に流れる傾向がございまして。</p> <p>また近年では、学びの森交流館だけを見ましても、やはり不景気なのかより安価な練習室へ利用者がシフトしているという傾向もございまして。</p> <p>また、追加質問といたしまして、コラーレやコスモホールといった近隣自治体の文化ホールにかかる維持管理費はどのくらいかとのことですが、お配りしております資料をご覧ください。</p> <p>新川文化ホールは、新川地区の県民会館的な位置付けですので、県と魚津市が指定管理料を負担しております。その関係があるものですから、新川文化ホールの欄につきましては、上段のところに総額を載せてございまして。そして、下段には括弧をして魚津市に関する負担分を記載してございまして。</p> <p>次に、入善町のコスモホールと下山芸術の森美術館についてですが、こちらは区別できない部分がございますので両方の経費を載せてあります。</p> <p>こうやって見てみますと、新川文化ホールの場合は施設管理事業費といたしまして、総額 1 億 8,200 万円余りかかっており、人件費が 7,300 万円余りかかっております。</p> <p>ということで、施設管理費と人件費を足すと 2 億 5,500 万円余りということになります。ここに自主事業費を足しますと、合計で約 3 億円という経費がかかっているということになります。</p> <p>次に黒部市のコラーレですけど、施設管理事業費、実は黒部の場合ここに人件費も含まれているのですが、1 億 2,400 万円余り、それに自主事業費 5,300 万円を含めると合計で約 1 億 7,800 万円となり、新川文化ホー</p>
--	--

<p>会長</p> <p>生協 課長</p> <p>会長</p> <p>生協 課長</p> <p>E 委員</p> <p>生協 代理</p>	<p>ルの約半分ということになっております。</p> <p>次に入善町のコスモホールですけど、施設管理事業費が 2,500 万円余りで、そこに下山の美術館分と人件費を含めると、施設分としては 5,600 万円余りとなります。</p> <p>また、それに自主事業費を足しますと、合計で 8,200 万円余りの事業費となります。</p> <p>ただ、各施設の内容も規模も異なるものですから、かかっている金額を比べると差はあるのですが、なかなか比較は難しいというのが現状です。</p> <p>しかしながら、各施設に対して各市町村がどれだけのお金を出しているかということ、資料右側の収入の欄でご説明いたしますと、新川文化ホールについては、指定管理料としまして 8,110 万円のみを魚津市から出してしております。ちなみに、県は 1 億 3,000 万円余りを支出しております。</p> <p>黒部市のコラーレにしましては、指定管理料としまして 6,100 万円余り、そして負担金補助金として 7,600 万円余り、一部返還金もございしますが、最終的には黒部市から 1 億 3,700 万円余りを支出しております。</p> <p>次に入善町のほうですが、コスモホールへ 6,700 万円余りを支出しております。</p> <p>それぞれの収益率を計算しますと、新川文化ホールは 27.8% という数値になります。それに対して、コラーレは 14.5%、コスモホールは 19.0% ということで、こうやって比べますと新川文化ホールのほうが収益率が高くなっているということが分かります。</p> <p>それでは、文化施設の利用料金の比較につきまして、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p> <p>学びの森交流館については、耐震診断は行われていないのでしょうか。</p> <p>学びの森は昭和 55 年に建設され、旧耐震基準ですので、当然のことながら小学校などと同様に耐震補強は当然必要だと思います。</p> <p>例えば、将来のあり方を考えたときに、一部を残すとかあるいは宿泊施設のみやめてしまうとか、そういった切り分けての残し方というのは出来るような構造にはなっているのでしょうか。</p> <p>棟がそれぞれ異なっていますので、棟が違えば出来るとは思いますが、ボイラーとかが集中管理になっておりますので、そういったものを追加投資する必要が出てくると思います。</p> <p>現在は、集中冷暖房システムになっておりますので、維持管理費が高く付いている状況です。</p> <p>後から増築したところはそうになっていないですね。</p> <p>体育館ですとか練習場の一部については、集中配管ではなく個別に付いております。</p>
--	---

A委員	<p>学びの森に、外にあった施設をいくつか機能移転しているので、そういう意味では、コスト面で貢献している部分もあるわけですね。</p> <p>勤労青少年ホームだとか職業訓練センターがそうですね。</p>
生保 課長	<p>そういうこともいえるかと思います。</p>
A委員	<p>例えば、そういうようなケースで、学びの森にさらに移行するような余裕というものはあるのでしょうか。</p>
生保 課長	<p>学びの森自体が、もともと公共施設というか集会場扱いの施設でありますので、当然、耐震化と老朽化というものを今後しないといけないわけで、そのコストは必ず発生してきます。</p> <p>その上で、学びの森に何らかの機能を集約するかどうかとなりますと、市全体としての計画になりますので、担当課としてお答えするのは難しいと思っております。</p>
会長	<p>例えば、現在の利用状況から見て、多少は利用できるスペースが狭くなるけれども、集約してもそれほど大きな影響を及ぼさないということは考えられないのでしょうか。</p>
生保 課長	<p>稼働率からいえば 10 数%の稼働率しかございませんので、スペース的には十分あると思います。</p>
D委員	<p>そもそも学びの森は、洗足学園の跡地・施設を利用して今日までやってきているわけですが、処分するという考え方は選択肢として無理なのではないでしょうか。</p>
生保 課長	<p>担当課だけの意見としては、何ともお答えできません。</p>
D委員	<p>代替としてどうしても必要な部分だけを新たに建てたとしても、老朽化ということを考慮していかないといけないかと思います。</p> <p>施設が分散している現状が、はたして正しいのかどうかということを思うものですから、例えば、以前から意見として出ていましたように、文化ホールの近くですとか総合体育館の近くですとか、そういったところに駐車場を共有してなるべくやれるように考えたほうが良いのではないかと思います。</p> <p>学びの森で必要不可欠な施設も含めた総合体育館の建築だとか、そういったことも考えたほうが、維持管理に何千万円もかけているわけですから、統合的に 10 年、20 年先を考えていくべきだと思います。</p>
B委員	<p>私も同意見です。</p> <p>今日のヒアリングの項目には入っておりませんが、以前、この委員会が出た話で、市役所の分庁舎を本庁舎に統合したほうが良いのではないかとというような意見がありました。</p> <p>それと同じようなことで、分散することのデメリットのほうが大きく、集約したほうが節約という面だけでなく色々な面でメリットがあると</p>

E委員	<p>思います。</p> <p>お金のことを度外視していうと、学びの森の本館といいますか練習棟については、日本でも有数なものなので何か出来ればいいなと思うのですが、古くなっていくことに関してはどうしても手立てができないところもあります。</p>
生涯課長 会長	<p>利用者数の割には、施設がすばらしいということだろうと思います。</p> <p>本当に良い施設で、これだという方向を決めるのはなかなか難しいところはあるんですけど、本日のお話を参考にして検討してまいりたいというふうに思います。</p> <p>それでは、他にご質問がないようでしたらこれで生涯学習・スポーツ課のヒアリングを終了します。</p> <p>長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>それでは引き続きまして、社会福祉課のほうからお話をお聞かせいただきたいと思います。</p> <p>社会福祉課につきましては2つの項目がございます。</p> <p>まず、No.12の「老人福祉センターの民営化・他の施設での実施について」ということで、簡潔にご説明いただいた後、こちらからご質問等させていただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
高齢係長	<p>老人福祉センターの民営化ということで、市内には百楽荘と経田福祉センターの2箇所がございます。</p> <p>この両施設に関しましては、平成18年度から社会福祉協議会に施設管理業務委託を行い、利用者の増加に努めてきました。</p> <p>百楽荘については、それほど利用人数は落ちてはいないのですが、経田福祉センターのほうが、平成22年度対比で見ますと平成23年度は93.3%ということで、利用者減が見られました。</p> <p>経田福祉センターへのバス送迎を1ルート増加して利用者増に努めてまいりましたが、それほどの伸びにはいたっていないのが現状です。</p> <p>経田福祉センターは、経田公民館と隣接した場所にあることから、現在も敬老会などの地域のイベントは、経田公民館の行事でありながらステージのある福祉センターで行なっているという現状もあります。</p> <p>公民館と一体となった施設として、また、地域の拠点施設として、新たな活用方法も考えられるのではないかと考えております。</p> <p>今後の方針としましては、老人福祉センターは、老人福祉法に基づき、低額な利用料金で老人に関する各種の相談に応ずるとともに、老人に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的として設置された施設であることから、この施設を民間に譲渡するというような話がありましたが、民間に管理運営を任せる</p>

	<p>ことはそもそも収支バランスの観点からも無理があると考えております。</p> <p>また、高齢者向けの事業を行なうには、1階建て若しくはエレベーター付きの施設が望ましく、市内には適当な代替施設は見当たらないと思っております。</p> <p>担当課としましては、平成 26 年度で3年間の指定管理が終了するのに向かひまして、経田福祉センターを廃止して百楽荘1箇所には統合できないかというような想いでおります。</p> <p>その際には、現在も経田福祉センターを利用されている方がおられますので、その方々のサービス低下とならないように、市民バスルートの変更などを含めて考えていきたいと思っております。</p> <p>それで、じゃあその後の経田福祉センターをどのように活用するのかということについてですが、地域交流の拠点として利用できないかということを経田振興会などと協議しながら進めていきたいと思っております。</p> <p>協議会でどのような結論が出るか、その結果を受けまして、話を進めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>それでは老人福祉センターにつきまして、何かご質問などあればお願いいたします。</p>
高齢係長	<p>今ほど、ひとつに統合していければというお話で、統合により残った経田福祉センターの建物を新たな活用方法について考えておられるとのことでしたが、築 30 年ほど経過しているもので、新たに活用するにしても大規模な修繕あるいは改築などが必要になってくるのでしょうか、それとも大して必要ないということでしょうか。</p>
社福課長	<p>経田福祉センターに関しては、随時修繕を行ってまいりましたので、現在、浴場部分があるのですが、地区に使っていただくにしても、浴場部分だけは何かしらの手を入れないといけないとは思っています。</p> <p>他の部分については、修繕をしなくてもそのまま使っていただけるのではないかと考えております。</p>
E 委員	<p>基本的に平屋ということなので、耐震性に関しても大きな問題は無いにしても、多少は手を入れないといけないかなと思っております。</p> <p>本来であれば、子どもは少なくなっているけどお年寄りが増えてくるわけなので、この施設が良い施設であってお年寄りの人たちが行くのを楽しみにして、なおかつそれが魚津市の介護費用と医療費用を安くするものであれば、ここに多少なりともお金をかけても良いものを造るべきではないかという気がしますが、今の施設的にはかなり古くなっていますよね。</p>
社福課長	<p>そういった点について、市のほうで将来計画と申しますか、10年、20年後を見据えた計画のようなものはありますか。</p> <p>老人クラブと社会福祉協議会とシルバー人材センターの3団体から、総</p>

	<p>合的な福祉センターの建設要求といたしますか、要望書が数年前に出ています。</p> <p>ただし、非常に厳しい財政状況もありまして、受付だけはいたしました が、実現には至っていないのが現状であります。</p> <p>本当はそういった建物を造るのがベターなんでしょうが、一般的に言わ れるのが、高齢者の部分はある程度抑えて、子育て部分に投資したほうが いいような風潮もございますので、今の段階では要望を受けたことにとど まっているのが現状であります。</p> <p>高齢化という趨勢のなかで、利用状況がそれほどといたしますか、以前と 比べると落ちている状況が見受けられるのですが、それはどういったとこ ろに原因があるものとお考えですか。</p> <p>高齢者の方の意識のなかで、ある程度の年齢に来ているんですけど、自 分は年寄りではないというような想いもありまして、利用増につながって いないということだと思います。</p> <p>老人クラブの人数もどんどん減っています。皆さん、個人的な趣味には どんどん出て行かれるんですけど、集団、団体、グループとしての活動が だんだん廃れていくというのは、どうしてもそういった考えが強いと止ま らないというのが現状としてあると思います。</p> <p>かといって、満天の湯がオープンしたことによる影響というのはさほど 無いということも、分析の結果、分かっております。</p> <p>現在もそれなりの方がセンターへ来てくれていますし、富山のほうで温 泉を活用した施設がありますが、魚津市にも民間ですがスコールという立 派な施設がございます、やっている内容は良く似たものですし、そのほ かにも介護保険施設などたくさんありますので、高齢者に対するサービ ス水準的には、魚津市はある程度水準だろうと思っております。</p> <p>D委員 老人やお年寄りというものを一括りにして考えては駄目だと思います。 人それぞれに趣味も多様化していますし、老人クラブで同じ事をやりま しょうということ自体が無理だと思います。</p> <p>いつかは体力も衰えて、福祉センターみたいなどころへ行きたくなるよ うな時期も来ると思いますので、こういった施設というのも一つくらいは 必要だろうと思います。</p> <p>社福課長 ヒアリング調書のグラフを見てもらっても分かるとおおり、経田福祉セン ターのほうは利用者数が少ないため、一人当たり単価も割高なので、担当 課としましても一つに統合してもいいのかなという想いではおります。</p> <p>それと、代替施設として民間の浴場も考えられるのですが、たまに浴場 組合の方と話をすると、過去に百楽荘が出来たときには本当にお客さんが 減ったとよく言われます。</p>
--	--

	<p>ただ、最近では銭湯に行く人は大体決まっているので、それほど影響はないということでした。</p> <p>逆に、百楽荘を、浴場組合の皆さんで別に組合でも作って維持管理してもらえませんか、という投げかけもしたことがありましたが、浴場の組合の皆さんは後継者がいないのでそんなことは出来ないといったお返事をいただきました。</p> <p>今の銭湯の経営者の方が止められたら、今度は市内の銭湯が無くなっていくということになっていきます。</p> <p>銭湯は町部だけですが、そういったことも想定されることから、1箇所くらいは当分維持していったほうが良いのではないかと考えた状況だと思っております。</p>
D委員	<p>介護をなるべく受けなくてもよくなるような、スクールのように運動をなるべくさせるような機能を持たせることが必要だと思います。</p> <p>施設としての改善も考えていながら、二つを一つに統合して、健康が増進するような施設になっていけばいいと思います。</p>
高齢係長	<p>現在、百楽荘でも経田福祉センターでも、介護予防教室を行っておりまして、例えば、百楽荘に行かれた方に対しては、お風呂に入るだけでなく、介護予防教室もやっていますので参加してください、というような呼びかけもしているところです。</p> <p>ただ、そういったところのPRが不足しているところもあるかもしれません。</p>
社福課長	<p>我々としては、百楽荘は保養施設というよりも、介護施設としての位置付けのほうがどちらかというと強いと思っております。</p>
F委員	<p>以前にも言いましたが、子どもはお年寄りから学ぶことがすごくたくさんあると思います。</p> <p>今、若い世代の核家族のところが増えていまして、学校や公民館のほうでもよく3世代交流の事業などをやってはいるのですが、この福祉センターに学童の機能を持たせるというのは少し極端な発想かもしれませんが、お年寄りと交流させることができれば良いのではないかと思います。</p> <p>また、そうすることによって、お年寄りも元気になると思います。</p>
社福課長	<p>今のご意見というのは大変大事ですが、おそらく児童センターに高齢者の方が行くというパターンのほうがどちらかというとやりやすいとは思っています。</p> <p>他の市町村でそのようにやっているところもあります。</p> <p>例えば、シルバー人材センターのほうからボランティアというかたちで行くとか、中には少し料金をもらっている市町村もあります。</p>
会長	<p>この委員会のキーワードとして、施設の集約化みたいなものもありまし</p>

	<p>高齢係長</p>	<p>たけど、世代を重ね合わせて集約していくとか、まとめていくということも良い考えだなと思いますので、その辺りも今後の検討の中に盛り込めたらというふうに思います。</p> <p>いずれにしても、先ほどのお話で、高齢者と一括りにできるものではなくて多様化しているというところだと思いますし、それから高齢者に対するサービスについて、公がやるというところはそれなりにまだ存在価値があるということだと思います。</p> <p>もし、今ご提案があったように2箇所を1箇所に集約して、ヒト・モノ・カネを集中して質の高いサービスを提供できるのであれば、これもひとつの方法かなと思います。</p> <p>それでは、次の項目で、No.13の「高齢者ふれあいの家の民営化・他の施設での実施について」でございますが、これにつきましても簡単にご説明願います。</p> <p>現在、経田に1箇所、片貝に1箇所というかたちでふれあいの家を持っております。1箇所ずつ説明させていただきます。</p> <p>まず、経田高齢者ふれあいの家ですが、こちらのほうは以前所有されていた方が亡くなられたときに、この土地と家屋を地域のために使っただけないかということで、市のほうに寄付したいという申し出があり、ふれあいの家としての活動をしているものです。</p> <p>現在の利用状況ですが、以前はそれなりの利用者がおりまして、地区の高齢者の集いの場として、また、サロンの開催会場としてにぎわっていたときもありました。</p> <p>ところが最近では、以前利用していた人の高齢化に伴って利用者が少なくなっているのが現状です。</p> <p>今現在は、施設の管理を地元の前民生委員さんをお願いしております。ただ、その方も高齢化していることから、経田高齢者ふれあいの家については、そろそろ活用は限界にきていると思っております。</p> <p>今後どうしていくべきかということで、担当課としましては、市は維持管理費として多少の金額ですが、ほとんど消耗品的なもので、23年度の実績としましては13万円ほどの支出をしていますが、これを支出することで空き家対策にもなっているのかなと思っております。</p> <p>ただ、その場所ですが、駐車場もなく地区の方が歩いていける場所として活用される以外は使い道がないのではないかというふうにも思っております。</p> <p>そもそも、この建物についてはいただいた経緯もありますが、地区のほうで使っただけなのであれば取り壊すのか、もしくはどなたかに利用してもらおうのか、そこは分かりませんが、とりあえずふれあいの家とし</p>
--	-------------	---

<p>会長 E委員 高齢係長</p>	<p>ては閉めていきたいというふうに思っております。</p> <p>もう1箇所の片貝高齢者ふれあいの家ですが、こちらも元々は民家だったのですが、交付金を活用しまして空き家を改修し、現在のコミュニティーセンター機能を有する施設として開所しております。</p> <p>こちらの施設につきましては、10名以下とはいいつつもそれを楽しみに来ておられる方がおられます。</p> <p>一定のリピーターのみとはいいながら、そこに行くことで元気をもらっているというところもございます。</p> <p>維持管理費については市のほうで支出しており、また、それにプラスして三ヶ生産森林組合に施設の運営や使用料徴収事務をお願いしておりますが、その委託料として利用料をそのまま森林組合に支出していることから、実質的には地元管理の状態となっております。</p> <p>担当課としましては、本地区が市街地から約10kmも離れていることから、市街地にある福祉センターを利用するよう求めるのはなかなか難しいところがあると思いますので、10名以下のリピーターのみとはいえ、当面はこの施設は維持していきたいというふうに思っております。</p> <p>ただ今の説明について、何かご質問などございませんか。</p> <p>片貝のほうにはお風呂はありますか。</p> <p>片貝のほうにはお風呂があつて、以前は使っていたのですが、それこそ高齢化に伴って沸かすのも大変になってきたということで、ここ何年かはほとんど使っていない、休止状態となっております。</p>
<p>会長 高齢係長</p>	<p>片貝の年間維持管理費はどのくらいですか。</p> <p>片貝のほうは使用料として一人200円もらってまして、収入としては23年度の実績で60万円ほどあります。</p> <p>市の支出としては120万円ほどあるので、差引60万円近くの支出ということになります。</p>
<p>E委員 高齢係長</p>	<p>その地区のほとんどの高齢者の方が来ておられるのでしょうか。</p> <p>デイサービスとかに通っておられる方以外は、人数的には少ないですがほぼ毎日来ておられます。</p>
<p>E委員 社福課長</p>	<p>西布施とか山間部の方はどうしているのでしょうか。</p> <p>西布施の高齢者の方はよく経田のほうに来ておられるみたいですし、その他の地区の方も市民バスを利用して百楽荘のほうへ行ったりしているようです。</p>
<p>会長</p>	<p>片貝のほうは、その地区で非常に大切な役割を果たしている施設だということはいくぶん分かりました。</p> <p>他になにかございませんか。</p> <p>無いようでしたらこれで社会福祉課のヒアリングを終了いたします。</p>

	産建次長	<p>長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>それでは最後でございます。</p> <p>都市計画課のほうから、No.14の「市営住宅の整理状況と市内全体としての適正規模について」ということで、お話を聞かせていただきたいと思っております。</p> <p>調書に沿って簡潔にご説明いただいた後、こちらから質問をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず現在の市営住宅の整理状況としましては、市営住宅 13 団地で 476 戸の市営住宅を所有しております。</p> <p>内訳としましては、鉄筋コンクリート造のものが 6 団地で 286 戸、木造やブロック造のものが 7 団地で 190 戸あります。</p> <p>鉄筋コンクリート造の住宅は、昭和 52 年度から建て始めておりまして、古いもので 35 年経過しているというもので、残りの木造やブロック造のものは、昭和 29 年度から昭和 45 年度までに建てた古いものであります。</p> <p>この内の耐用年数が過ぎている建物については、その老朽程度を見定めて募集停止をしております、現在は 99 戸が空室の状況です。</p> <p>次に、2 点目の今後の老朽化した建物への対応ですが、老朽化した建物の中で、特に傷みが著しい小川田、西川原、吉島の住宅については、入居者に他の住宅への転居する協議を行ないまして、空室になった建物から順次解体しております。</p> <p>既に吉島住宅で 9 世帯、西川原住宅で 2 世帯交渉中でありまして、交渉成立後は平成 25 年 7 月までに吉島で 32 戸を解体する予定にしております。</p> <p>なお、本江、上村木、慶野、住吉も募集停止の住宅団地ではありますが、緊急に対処する建物ではないと判断しておりまして、入居者の生活に支障がある修理だけに留めて、大規模な改修はしないことにしております。</p> <p>青島、道下、六郎丸、川の瀬、天王、上野方の 6 団地は、鉄筋コンクリート造ということで安全であっても、屋上防水や外壁塗装工事等の長寿命化計画に基づいて大規模な改修工事を行ないながら、長く所持したいと考えています。</p> <p>次に、3 点目の市営住宅の必要戸数については、市営住宅の必要戸数は民間アパート等で不足となる戸数の補完をしながら、社会のセーフティネットとして真に住宅に困窮する人に対して供給していくということで、極めて重要であると認識しているところであります。</p> <p>目標戸数につきましては、現時点の管理戸数を基本としながら、10 年後の人口推計からの世帯推計や公的な支援が必要な世帯数及び既存入居者の収入超過となる世帯推測を行ないまして算出することが基本となっております。</p>
--	------	--

<p>会長</p>	<p>本市の場合は、現在、管理戸数が 476 戸ありますが、S31 年の魚津大火の影響により、県内他市と比べて数多く所有している状況です。</p> <p>隣接する滑川市が 164 戸、黒部市が 268 戸でありまして、人口が多い富山市や高岡市を除く県内 8 市の平均戸数が 300 戸程度である状況から、当市の市営住宅戸数も 300 戸程度が適正であると判断しているところでございます。</p> <p>4 点目の今後の市営住宅の全体的な計画としましては、募集停止をしている住宅団地の整理が優先であると判断しておりまして、既存入居者との協議を行ないながら、他の市営住宅団地や民間アパートへの転居を促したいというふうに考えております。</p> <p>その結果、空き家になったところから、順次、解体除却を行いまして、また、跡地の活用としては、公共事業に伴う代替地としての位置付けや民間への売却等を視野に入れまして、有効利用に努めたいと考えています。</p> <p>それでは市営住宅につきまして、ご質問等ありましたらお願いします。</p> <p>現在の入居者はどのくらいでしたか。</p>
<p>産建次長 会長</p>	<p>現在の入居者は 365 世帯であります。</p> <p>例えば、移っていただく交渉に際して、転居費用だとかを負担するというのを伝えたりするのでしょうか。</p>
<p>産建次長</p>	<p>今現在、労災病院の建替えが決まったことから、吉島住宅について、かなり古い施設なのでこれまでも何とかしないといけないといった話はありませんが、それをさらに進めるために他の市営住宅への移転をお願いしているところです。</p> <p>また、鉄筋の市営住宅はなかなか空かないのですが、空いたときには優先的に入っていただくようにもしております。</p> <p>当然、移転に伴う費用については、市のほうで負担するという話をしております。</p>
<p>D 委員</p>	<p>吉島の家賃はかなり安いと思いますが、その場合、値段はどうなるのでしょうか。</p>
<p>産建次長</p>	<p>市営住宅を建替えした場合、当然、家賃は一気に上がるんですが、その場合、5 年間段階的に家賃を上げていくという緩和措置があります。</p> <p>今の移転のケースもその手法をとって、段階的に上げていくというやり方で進めております。</p> <p>また、移転先についてはいくつか示した中で、その中から本人に選んでいただくようにもしております。</p>
<p>E 委員 産建次長 都計主幹</p>	<p>ほとんど一人暮らしなんですか。</p> <p>3 人とか、子どもと 2 人とか色々なケースがあります。</p> <p>高齢者の割合は全体の約 3 割となっています。</p>

C委員 都計主幹		<p>市営住宅によって家賃の差はかなりあるのでしょうか。</p> <p>上野方住宅が一番新しい住宅で、収入によっても値段が変わってきますが、一番高いところで49,400円、一番安いところで13,700円となります。</p> <p>吉島住宅ですと1,800円とか、小川田住宅で1,500円ということになります。</p>
F委員		<p>20、30年前とかは民間のアパートが少なかったもので、市営住宅に入るのは順番待ちとか、雇用促進住宅にしてもそうだったんですけど、今は民間のアパートも結構建っていますし、値段もリーズナブルなので、そういった意味でも市営住宅が空いているのかなと思います。</p>
産建次長		<p>約10年前の平成13年に募集が7.5倍だったのが、一昨年には2.8倍くらいの募集になっております。</p>
C委員 都計主幹		<p>一人暮らしの高齢者の方はどのくらいおられますか。</p> <p>全体で365世帯あるうち、86世帯が一人暮らしで65歳以上の高齢者の方になります。全体の23.6%になります。</p>
D委員 産建次長		<p>市営住宅については、将来的に減らす方向でいいのでしょうか。</p> <p>現在、鉄筋建ちの市営住宅が全部で286戸ありますが、鉄筋建ちのものを安全・安心なものとして位置付けておりますので、そういった意味からも大体300戸程度が適当ではないかと計画しております。</p>
会長		<p>市営住宅の役割というのが、今までは働いている人の中で低所得者のためのセーフティネットという位置付けでしたが、高齢者の方のためのものになってきているのかもしれないですね。</p> <p>いずれにしましても、木造やブロック造のものは早急に取り壊しをしたほうがいいんだろうと思います。</p> <p>他にないようでしたら、これで都市計画課のヒアリングを終了したいと思います。どうもありがとうございました。</p>
事務局		<p>以上をもちまして、本日予定しておりました内容はすべて終了いたしました。長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>最後に次回の日程等について、事務局のほうからお願いします。</p> <p>それでは次の委員会ですが、3月11日、月曜日の9時から開催したいと思います。詳細につきましては、改めてご連絡させていただきます。</p> <p>次回の委員会では、これまでの会議を踏まえて事務局のほうで中間報告(案)を作らせていただきますので、その内容をご確認いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
会長		<p>それでは、これもちまして第5回委員会を終了します。</p> <p>本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。</p>
17:23		以上終了